

平津合奏組合

第2回公演

2020年12月26日(土) 15:30開場/16:00開演

@FIGAROホール

主催：娑婆羅…カオスモス

協賛：株式会社 ヤマハミュージックジャパン



「平津合奏組合」は、大津市平津に所縁のある演奏家たちを中心としたアンサンブル集団です。2015年5月より、滋賀県内の養護学校訪問演奏で活動を開始し、同年10月の滋賀公演・11月の東京公演を皮切りに、公演を行ってきました。

今回の演奏会では、フルート・オーボエ・ピアノという編成によるアンサンブルの魅力をお伝えたく このコンサートを企画いたしました。

フランス近現代の木管楽器とピアノという編成による代表的な楽曲を核に プログラムを構成しています。P. ゴーペールの小品 そして F. ブーランクの円熟の時期に作られた「オーボエ ソナタ」、続いては C. ドビュッシー ・ D. ミヨー そして J. フランセ さらには O. メシアンといった普段演奏されることの少ない、魅力的な 20 世紀を代表する作曲家の佳曲を演奏いたしました。メイン楽曲には、重力感のある演奏時間 20 分に迫る大曲であるダマーズ作曲の「三重奏曲」を据えております。

作曲家の若林千春は、東京芸術大学音楽学部修士課程を修了後、日本音楽コンクール第1位を受賞するなど、作曲家・ピアニストとして、長く第一線で活動してきました。現在、滋賀大学教育学部教授であり、2007年度滋賀県文化奨励賞を受賞しています。

中根庸介は、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学を卒業。大学在学中2年間、ドイツのトロッシンゲン音楽大学に留学。東京芸術大学大学院を修了。平成17年度文化庁芸術家在学研修員。リューベック音楽大学卒業。東京芸術大学非常勤講師を経て、現在、滋賀大学教育学部准教授。滋賀県石山高等学校音楽科非常勤講師を務めている 日本を代表するオーボエイストです。

若林かをりは、東京芸術大学を卒業後、渡欧し、ストラスブール音楽院・スヴィツェラ・イタリアーナ音楽院修士課程を修了後、帰国。2006年度に 平和堂財団芸術奨励賞を、2016年度には 滋賀県文化奨励賞を、2018年には第72回文化庁芸術祭賞新人賞を受賞するなど、気鋭のフルーティストです。

当日の演奏番組は 下記の通りです。

演奏番組

P. ゴーベール 作曲／子守歌 (1907)

フルート：若林 かをり・ピアノ：若林 千春

F. プーランク 作曲／オーボエとピアノのためのソナタ 作品 185 (1962)

I. Elegie (Paisiblement)

II. Scherzo (Tres anime - Le double plus lent - Tempo I)

III. Deploration (Tres calme)

オーボエ：中根 庸介・ピアノ：若林 千春

J. フランセ 作曲／フルートとピアノのための嬉遊曲 (1953)

I. Toccata

II. Notturmo

III. Perpetuum mobile

IV. Romanza

V. Finale

フルート：若林 かをり・ピアノ：若林 千春

D. ミヨー 作曲／オーボエとピアノのためのソナチネ 作品 337 (1954)

I. Avec charme et vivacite

II. Souple et clair

III. Avec entrain et gaite

オーボエ：中根 庸介・ピアノ：若林 千春

C. Debussy 作曲／金色の魚 ～「映像第2集」より (1907)

O. Messiaen 作曲／マジジロオニヒタキ ～「峡谷から鳥たちへ」第1部より第4曲 (1974)

ピアノ：若林 千春

J.=M. ダマーズ 作曲／フルート、オーボエとピアノのための三重奏曲 (1962)

I. Molto moderato - Allegro - Moderato

II. Allegretto con spirit

III. Allegro scherzando

IV. Moderato - Andante

フルート：若林 かをり・オーボエ：中根 庸介・ピアノ：若林 千春

本企画の開催にあたっては、感染リスク回避のため、客席数は、会場のキャパシティの半分以下に絞り、チケット制を廃止し、演奏会場での感染対策ガイドラインに沿う形での実施としました。また第三波の蔓延に伴い、ステージ上では全く無言で開催いたしました。



